



慶應義塾

杉並三田会



花と緑の会

世話人

永坂

和也

39法

本会の発足は平成12年3月ですから今年(平成29年)は設立17年目になります。

会のキーワードは「ゆっくり、ゆったりそしてしっかり」です。

今年も例会の集合時間と歩行は至ってゆっくりと。プランは四季折々の自然を愛で、風情と味わいの名庭園を巡ったり、都内近郊の魅力的な花と緑を求めて、サプライズなプランを提供していくつもりです。

活動内容は、早春から初夏までに3回
秋口から初冬までに2回
を予定しています。

6月30日 花と緑の会 所沢のゆり園を訪ねる。

今回の参加者は23名。国分寺駅から10時45分発の西武多摩湖線に乗り、西武球場前駅にある「ところざわのゆり園」を訪ねました。

年間を通じてこの時期1か月だけ開園している「ゆりONLY」の植物園です。狭山丘陵の広い斜面一杯に植えられた豪華なゆりの花が、高貴な香りを漂わせて咲き誇っている様は背景林とマッチして見事な風景でした。

昼食は山頂の展望台にある蕎麦屋で皆さんユリ根の天ぷらそばを注文。ユリ根の甘さが好評でした。午後からは隣接する狭山不動尊を拝観。ここには全国各地から移設してきた仏閣が数多くあり、西武グループの往年のパワーがしのばれます。朝方の梅雨空が次第に好転して青空が覗く頃、14時30分に現地解散となりました。



11月29日 花と緑の会 神代植物公園

1週前には東京に初雪が降りお天気が心配でしたが、この日は青空の広がる穏やかな紅葉日和になりました。おなじみの神代植物公園と深大寺ですが、「寒い時期は近場でゆっくり」が当会員のニーズに合わせて参加者は何と28名。ボランティアガイド3名の方の丁寧な説明を聞きながら1時間半の散策は、神代植物公園の新たな魅力の発見がありました。お昼は深大寺の新蕎麦を味わい、しばし境内を散策。現地に11時集合～14時半解散のゆっくり散歩でした



2017. 2月14日

美術鑑賞会・花と緑の会「熱海バスツアー報告」共催の熱海バスツアー

美術鑑賞会と花と緑の会の共催で、梅をテーマに熱海バスツアーを催行しました。参加者は38名。京王観光バス（トイレ付き）で9時に荻窪を出発し、先ず目指したのは熱海の市内にある「起雲閣」です。戦前は三大別荘と賞賛され、戦後は高級旅館として数多くの文豪に愛された名邸をガイドさんの説明付で見学。熱海後樂園ホテルでの昼食をはさんで、午後はいよいよ山上にある「MOA美術館」です。MOA美術館は約1年の工期を経てこの2月5日にリニューアルオープンしたばかり。熱海市街と相模湾を一望するロケーションは素晴らしく、瑞雲郷の梅園も満開。さらに国宝「紅白梅図屏風」はこの時季だけ公開されるという、まさに旬の訪問でした。

帰路は熱海名物の渋滞に遭遇し、荻窪到着は予定より1時間遅れの7時に。少し慌ただしいスケジュールになりましたが、バレンタインデーのチョコレートでご容赦を。

